



神奈川労働局発表  
平成 28 年 7 月 28 日

【照会先】  
神奈川労働局職業安定部職業安定課  
課長 近藤 康則  
課長補佐 福本 秀  
電話：045-650-2800

報道関係者 各位

## 平成 27 年度公共職業安定所のマッチング機能に 関する業務の総合評価の結果等について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）においては、これまでも P D C A サイクルによる目標管理等により業務改善を進め、マッチング機能の強化を図ってきたところですが、平成 27 年度からはこれを抜本的に見直し、

- ① P D C A サイクルによる目標管理及び業務改善の拡充
  - ② ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び公表
  - ③ 全国的な業務改善に向けた取組の強化
- を一体的に実施しています。

このことを踏まえ、神奈川労働局及びハローワークにおいては、平成 27 年度の業務運営の総括やマッチング関係業務の成果等、マッチング機能に係る総合評価の結果等について、別添のとおり取りまとめました。

神奈川労働局及び各ハローワークでは、平成 28 年度においても引き続き目標達成に向けて取り組んでいくほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼感の向上に努めることとしています。

# ハローワーク横浜 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「地方自治体との連携の推進」の取組を重点的に進めることとし、横浜市との雇用対策協定に基づき、合同就職面接会を開催した。一般対象が3回、建設関連企業が1回、保育士が5回、大卒が1回、障害者が2回の計12回開催し、365名の採用を上げることができた。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、待ち時間が長いなどの意見があったため、混雑予想マップを作成し、利用者への配付、庁舎内掲示、ホームページ及び求人情報端末並びに待合用モニターへの掲載を行い、混雑時間に周知並びに閑散時間帯への誘導を行った。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

ミニ面接会については、実施回数は多いものの、求人・求職のミスマッチにより、採用者があまり上がらない状況であった。今後は、求人・求職者ニーズを意識し、マッチング効果を高めるよう利用者サービスの向上を図っていく。

### （4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職については、求職申込時・雇用保険説明会・初回認定日等に求人一覧表を配付して、紹介件数及び就職件数の増加に努め、「目標」並びに「過去3年度平均」を上回ることができた。

## 2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

横浜市との連携の推進に努め、共催による合同面接会等を年 12 回開催するほか、雇用対策協議会や生活保護の自立促進事業協議会を実施しており、求人情報についても毎月提供している。また、生活保護受給者等を対象とした、一体的実施事業施設（ジョブスポット）を各区に設置し、就職支援を実施している。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョ ブサポー ターの支 援による 正社員就 職件数	ハローワ ークの職 業紹介に より、正規 雇用に結 びついた フリータ ー等の件 数	マザーズ ハローワ ーク事業 における 担当者制 による就 職支援を 受けた重 点支援対 象者の就 職率	正社員求 人数	新規学卒 者(高卒) 内定率	60歳以 上の就職 件数(全 数)	求職者担 当制の就 職率(一方 向)	ピックア ップ対象 求人(の充 足率)
実績	11,517	11,593	4,898	92.7%	93.4%	10.0%	721	2,182	3,761	91.2%	53,522	97.9%	2,335	44.0%	25.6%
目標	12,691	12,605	4,849	90.0%	90.0%	8.8%	717	2,072	4,090	87.5%	53,086	97.8%	2,154	17.3%	23.5%
目標達成率	91%	92%	101%			114%	101%	105%	92%	104%	101%	100%	108%	254%	109%
(参考)過去3年度平均	13,446	13,175	4,685												

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク戸塚 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成に向け重点的な取組みを行った。マッチング力を向上させるため、他の求職者にもおすすめしやすい求人票を職種「事務」、「公務」、「製造」、「軽作業」、「高齢者用」に分けプラスワンBOXと名付けた箱に保管し、職業相談窓口の職員等が情報提供として活用を図った。また、求職者ニーズに応じて、初回認定日までに予め職業相談記録等を基にマッチングする求人票を選択し、来所した際、情報提供を行った。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

ミニ面接会の開催回数を増やすために、これまで実施していた個別支援コーナーのほか、会議室の一部（エントランス）にパーテーションを設け面接会ができるように工夫し、それにより平成27年度は40回開催することができた。

職業相談窓口で使用されている利用者側の椅子に汚れが目立つとの声に対応し、当該窓口の利用者側の椅子について全てを交換した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

現在、支援メニューの周知方法として、初回講習会時や職業相談時におけるリーフレット等の配布のほか所内掲示や所内配架を実施しているが、今後においてはディスプレイを活用した周知方法も加えることを検討する。

### （4）その他業務運営についての分析等

全国的に求人が増加している中、平成26年度の当所の新規求人数は減少しており、このような状況下、正社員求人確保のため、当所管内の業界団体との連携から得られた情報や職業相談窓口で得られた情報等を基に事業所部門職員のみならず職業相談部門に配置された職員全員が求人開拓に取り組んだ。その結果、平成27年度は正社員求人数10,512人を目標としていたが、実績は10,827人と目標を達成した。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついたフリー ター等の件 数	正社員求人 数	障害者のチ ーム支援に よる就職件 数	新規学卒 (高卒)内定 率	求職者担当 制の就職率 (一方向制)
実績	3,770	2,878	1,940	94.1%	96.2%	12.9%	908	355	1,131	10,827	103	98.3%	27.3%
目標	3,749	3,074	2,083	90.0%	90.0%	11.1%	610	304	1,124	10,512	61	99.5%	23.7%
目標達成率	101%	94%	93%			116%	149%	117%	101%	103%	169%	99%	115%
(参考)過去3年度平均	3,952	3,353	1,985										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク川崎 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者が減少する中で、いかに窓口への誘導を図るかをテーマに、受付での声掛けやハローワークサービスメニューの提案、求人情報の提供等の求職者サービスの充実及び求職者ニーズの高い正社員求人の確保に努めた。

また、介護・保育等の人材確保のための「ミニ面接会」を開催することで、人手不足の人材確保に努めた。

なお、保育士の人材確保対策としては、職種別認定日を設定し、最新の保育士事情に係るセミナー及び「ミニ面接会」を開催しマッチングに努めた。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

満足度調査では、求人者 99.0%、求職者 95.6%と高い結果となったが、求職者からは、案内表示・見やすいポスターの掲示・わかりやすい陳列の項目は神奈川局の平均値を下回っていることから、1階エントランス等の掲示について、掲示場所等の改善を図った。

また、接客・接遇の向上に向け窓口対応の研修を実施した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワーク窓口利用のメリット（応募状況の確認、事業所詳細情報の収集及び提供、求人検索方法のフロア案内、簡易な応募書類の窓口添削等）をPRするとともに、引き続き求職者サービスの充実に取組む。また、職種別認定日（保育士）を設定し、ミニ面接会等を開催しているが、対象職種の拡大（介護職）を実施する。

### （4）その他業務運営についての分析等

求人事業所の画像情報の収集及び提供（1Fエントランスの掲示）、未充足求人のフォローアップなどの一定の成果をあげている取組を継続するとともに、求人充足会議の活性化を図ることを重点的に取組む。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早 期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	ハローワー クにより正 規雇用に関 わったフ リーター等 の就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた 重点支援対象者 の就職率	正社員求 人数	障害者の チーム支 援による 就職件数	新規学卒 者(高校) 内定路津	高齢者 就労総合 支援チ ームによる就 職率
実績	5,051	5,659	2,419	99.0%	95.6%	14.2%	298	1,431	88.8%	16,063	77	98.7%	61.4%
目標	5,270	5,659	2,305	90.0%	90.0%	12.2%	323	1,429	87.5%	15,069	65	97.7%	50.0%
目標達成率	96%	100%	105%			116%	92%	100%	101%	107%	118%	101%	123%
(参考)過去3年度平均	5,305	5,885	2,338										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク横須賀 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を重点的に進めることとし、求職票・職業相談記録の确实記載の取組を行った。情報を共有することにより、今回の職業相談・職業紹介へつなぐことができるよう的確に聞き取り、相談経過が把握できるような相談記録の入力に努めた。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

これまで、未充足・未紹介求人の条件緩和の助言を行い、応募条件が広がったと思われる求人を1階フロアに掲示していたが、タイトルを「ピックアップ求人」に統一し、『正社員登用（正社員登用制度のある求人です）』・『応募してみませんか？（少し内容を見てみませんか？）』・『窓口へどうぞ（ぜひ窓口で相談、応募してください）』・『よろしかったら（よかったら応募してみませんか？）』・『画像情報求人』等副タイトルを付して求職者が見やすい掲示方法に改善した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職を図るため「求職活動支援セミナー」を毎月2回開催しており、定員を上回る参加申し込みがあった場合には次回開催時へ誘導していたが、早期再就職支援の観点から定員を上回る参加希望が見込まれる場合には、追加開催について検討した。

また、セミナー参加者から要望のある「マナー講座」の開催についても検討する。

### （4）その他業務運営についての分析等

就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数ともに年間目標を達成することができず、この要因として、紹介件数が減少していることによるものと思料されることから、積極的なマッチングによる情報提供に努める。

また、給付制限中の雇用保険受給者に対して早期の再就職を促進するため、郵送等による求人情報の提供及び認定日当日のハローワーク窓口利用を呼び掛ける。

## 2 総合評価 (※)

### 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

所独自の就職セミナー「求職活動支援セミナー」は、雇用保険受給者を中心に講義形式による「応募書類の書き方、面接の受け方」と、ワーク形式による「面接演習」を行っており、セミナーの資料として、自所の紹介により採用となった求職者の採用理由や採用する基準等を選考結果通知書で確認し、「採用理由」、「理由別割合」及び「業種・職種別採用理由」をリーフレット「採用担当者の声を聞いてみよう！」に取りまとめ、受講者に補足的な説明を加えて配布している。実際の企業担当者からの声を具体例として説明すること、また、経験や資格以外に人柄や意欲など形には表れない採用理由が思いのほか多いこと等を説明することでセミナー受講者からは好評を得ている。分析結果を職業相談部門で共有することで、紹介担当者からは「より説得力のある助言」ができ、また、求職者には「自分を振り返るきっかけ」作りができています。

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員雇用に結 びついたフリータ 一等の件数	新規学卒者 (高卒)内定 率	求職者担当 者制の就職 率(一方向)		
実績	3,341	2,097	1,200	95.2%	90.8%	17.4%	120	146	964	97.5%	34.3%		
目標	3,789	2,247	1,239	90.0%	90.0%	14.7%	148	141	998	96.9%	26.3%		
目標達成率	88%	93%	97%			118%	81%	104%	97%	101%	130%		
(参考)過去3年度平均	4,013	2,400	1,122										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所管内には、養護学校3校に加え盲学校及び聾学校の他、知的障害者の職業的自立を目指す神奈川能力開発センターがあり、障害者の雇用促進について関連機関との連携強化を図った他、下記について重点的に取組みを行った。

- ① 新規求職者が減少するなか、窓口の利用を促進するために当所では、雇用保険受給者に対する支援メニューの十分な説明や求職者ニーズの的確な把握などの取組に力をいれ、具体的には雇用保険説明会で実施する説明内容などの見直しや求人検索利用のみで帰宅する受給者を相談窓口へ誘導するための取組の改善を行った。
- ② 求人充足を促進するために所内に掲示している新規求人票の掲示方法を工夫し、求職者の応募意欲を喚起する取組を行った。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 雇用保険説明会で職業相談部門が実施する講習会での説明内容や配布資料の見直しを行った。説明者（職員）の説明内容に漏れがないように「講習会説明要旨」を作成し、説明内容の統一を徹底した。雇用保険受給者の就職に対するニーズを的確に把握するために、初回認定日での求職者アンケートを拡充するなどの改善を図った。
- ② 所内に掲示している新規求人票に事業所の画像と事業所から求職者へのメッセージ（事業所採用担当者の手書き）を添えて掲示した。求人票だけでは伝えられない情報を求職者に提供するサービスを行うことにより、同時に求人者（事業所）へのサービス向上にもつながった。
- ③ 平成27年度に実施した当所職員による「ハローワーク平塚意見交換会」での日常業務の振り返りのなかで、「所内で実施しているセミナー、説明会やミニ面接会等の各支援メニューの開催状況の資料が担当者ごとに管理され分かりにくい。利用者への案内が迅速にできていない」との意見が複数の職員から提起されたことを踏まえ、これらの実施予定表「マンスリーハローワーク平塚～ハローワーク平塚からのご案内～」（行事カレンダー）を毎月ごとに作成し広報した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職のために、再就職手当を活用するメリットを職業相談部門と雇用保険給付課が連携し、離職票の提出時、雇用保険説明会及び初回認定日に集中して周知及び説明を行い、短期間での再就職を目指す取組を重点的に行うこととする。

### （4）その他業務運営についての分析等

マッチング精度を上げるため、求職者が求める正社員求人の開拓、求人票記載内容の充実などを事業所に対し助言していく取組が重要と考

える。

一方求職者に対しては、長期に渡り生活の主たる部分が求職活動といった環境に滞留することがないように、新規求職者に対しては離職後、早期の集中した支援の取組が重要と考える。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者就職 件数	学卒ジョブサ ポ等	フリーター等	正社員求人 数	障害者のチ ーム支援		
実績	3455	2531	1378	99.2%	95.7%	13.7%	239	539	1068	7019	98		
目標	3481	2463	1243	90%	90%	11.5%	200	295	1165	6708	40		
目標達成率	99%	103%	111%			119%	120%	183%	92%	105%	245%		
(参考)過去3年度平均	3545	2675	1358										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク小田原 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

○**雇用保険受給者の早期再就職件数**：当所では、雇用状況が改善する中で長期失業を未然防止するため雇用保険受給者の早期再就職が最重要であると考え、特に重点的に進めた。そのためには、相談部門、雇用保険課の連携のもと効果的な受給者への働きかけが不可欠であるため、所内に相談部門と雇用保険課それぞれの職員からなる「再就職委員会」を発足させ、統一した対応を検討した。まず、雇用保険受給者は雇用保険受給資格決定時から相談部門と雇用保険課双方で検討・作成した所独自リーフレットにより早期就職のメリット、長期失業のデメリットを丁寧に伝え、求人情報の提供を行うとともに再就職手当制度についても相談部門と雇用保険部門双方の立場から説明した。次に初回講習時には、求人情報を配布し、再度早期就職のメリットと再就職手当制度等を丁寧にシュミレーションしながら解説した。更に初回認定日には事前にマッチングさせた求人票の提供を行った。給付制限中で初回認定日、概ね1カ月経過後までにHW窓口で相談を行っていない求職者に対しては、求人情報、ミニ面接会、支援メニューの案内等を郵送で実施。認定日には雇用保険課からミニ面接会へ誘導をした。また雇用保険課の待合スペースに最新求人・正社員求人、ミニ面接会の案内等を掲示した。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

○**ミニ面接会の充実**：平成27年度は、充足対策として能動的に地元優良企業の面接会を積極的に実施した。実施件数80回、うち就職件数31件(平成26年度実施件数56回、就職件数13件)。雇用保険受給者の来所時に期を捉え、面接会へ誘導でき効果を上げた。また、事業主からもハローワークの充足対策への積極的な姿勢が評価された。

○**地元観光業を支える宿泊業への支援**：平成28年3月卒業予定の高校生へ訪日外国人が増え、観光業が成長産業であること等を説明し、就職支援を行った結果、宿泊業への高校生の内定件数が大幅に伸びた(平成26年度10件→平成27年度22件)。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

○**小田原市との連携による若者支援、キャリア教育事業**：管轄内は少子高齢化を背景として人口減少が課題となっている。そのため平成25年度から若者の地元定着を目的としたキャリア教育事業や面接会を小田原市、小田原箱根商工会議所と連携し実施してきている。それら事業をより効果的に推進するために、平成27年度には、地方創生会議の小田原市版「小田原市総合戦略有識者会議」に参画し、雇用対策等に意見を述べた。また、これらを踏まえ平成28年3月14日に「小田原市雇用対策協定」を締結した。今後、市内への移住促進対策として、平成28年度は新宿ハローワークの「出会いのフロア」を活用し、10月20日に「小田原UIJターン面接会」（仮称）を実施予定である。

(4) その他業務運営についての分析等

○地元観光業を支える宿泊業への支援：今後は宿泊業者への雇用管理改善指導や就職した者へのきめ細やかな定着支援が課題となっている。効果的にそれらを行うために官・学・民の幅広い連携を模索中である。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

○箱根山火山活動活発化の影響：箱根山の火山活動活発化による影響が大きく、充足件数や就職件数が目標値に届かなかった大きな要因と考えられる。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	HWの職業 紹介により 正規雇用に 結びついて フリーター等 の件数	正社員 求人数	障害者のチ ーム支援に よる就職件 数
実績	2,330	2,077	864	97.1%	100.0%	16.4%	149	756	5193	35
目標	2,516	2,299	626	90%	90%	15.3%	144	699	4958	29
目標達成率	93%	90%	138%			107%	103%	108%	105%	121%
(参考)過去3年度平均	2580	2427	840							

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク藤沢 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、初回講習会での最新求人情報の提供、初回講習会を15分延長しパワーポイントや「ハローワーク藤沢就職ガイド」を活用して早期再就職のメリット・支援メニューの詳細な説明を実施した。また、求職活動実績報告書の導入による求人情報検索端末利用者の職業相談窓口への誘導、初回認定アンケートを活用した初回認定日職業相談（再度支援メニュー利用の希望を確認し説明を実施）、求職者ニーズに応じた2回目認定日相談の実施などの取組を行った。加えて、給付課待合スペースに再就職手当の計算例を掲示するとともにパワーポイントで各種支援メニューやミニ面接会等の周知を実施した。その結果、目標2,565件を上回る2,662件の早期再就職件数は目標を達成することができた。

「藤沢市・茅ヶ崎市と連携した事業所に対する障害者雇用指導」の取組について、厚生労働本省から高い評価を得たことから、平成28年度は鎌倉市も加え、自治体と連携した事業所に対する障害者雇用指導のより一層の推進を図る。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは「ご意見箱の設置場所がわからない」との意見があったため、大きく目立つ案内掲示に変更する改善を行った。その結果、多くの利用者からご意見をいただくこととなった。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

平成28年6月より「福祉人材コーナー」を設置したことから、介護・看護・保育等の人手不足分野について、就職支援ナビゲーター（福祉分野支援分）と就職支援コーディネーター（福祉分野支援分）を中心に求人・求職者支援の取組を行う。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成27年度の紹介成功率は、目標10.8%に対して12.5%と目標は達成したところであり、この要因として、平成27年度から実施している毎日のお薦め求人の求人票の職業相談部門・専門援助部門全員への提供、月水金に開催している求人求職マッチングカンファレンス（充足会議）による求人票及び求人票記載事項以上の情報提供、毎週火曜日に職業相談部門・専門援助部門全員へ提供している60歳以上の求人情報一覧表等を活用したマッチングの効果と思われることから、今年度も引き続きこの取組を実施する。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	HWの職業 紹介により 正社員に結 び付いた フリーター等 の件数	MH事業に おける担当 者制による 就職支援を 受けた重点 支援対象者 の就職率	正社員 求人数	障害者のチ ーム支援に よる 就職件数	新規学卒者 (高卒) 内定率	求職者担当 制の就職率 (一方向制)
実績	5,518	4,412	2,662	99.1%	94.5%	12.5%	303	1,581	88.8%	14,298	73	98.6%	23.0%
目標	6,011	4,669	2,565	90.0%	90.0%	10.8%	288	1,926	87.5%	13,743	58	95.8%	20.6%
目標達成率	92%	94%	104%			116%	105%	82%	101%	104%	126%	103%	112%
(参考)過去3年度平均	6,212	4,785	2,484										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

●当所本庁舎における利用者数は庁舎狭隘等、庁舎の置かれている状況からその増加させることは厳しい状況にある。一方、当所職業相談第3部門が所掌する出先機関「相模大野相談コーナー」及び「マザーズハローワーク相模原」については、駅から至便な場所にあることと、窓口の混雑状況等から判断して利用者数（求職者数）をアップさせることは可能性があり、また、対応力も十分備えている状況にあった。このため、平成27年度においては、本庁舎におけるマッチング機能の強化を図りつつ、職業相談第3部門の利用者数のアップを図ることにより所全体の就職件数及び充足件数の目標達成に向けて取り組むこととして、各種セミナーの開催、ミニ面接会の開催を積極的に実施した。セミナーは11回の開催、参加者数は461名であった。また、ミニ面接会は15回の開催、参加者数28名・就職者数4名であった。この取組の結果は残念ながら利用者数をアップさせるには至らず、本庁舎と同様の割合で利用者数は減少、就職件数も同様であった。

●所重点指標の一つとして「正社員就職件数」を選択、正社員求人の確保を求人開拓により積極的に実施するとともに、開拓した正社員求人を充足させるため求人充足会議での充足検討や担当者制による情報提供を実施した。結果は、所重点指標としては未選択であった正社員求人数は局設定目標を達成、正社員就職件数は未達成であった。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

●雇用保険給付課前に十分な待合スペースがないことから、会議室に椅子を配置して待合スペースとして利用しているが、立って待っている利用者が少なくなかったことから、会議室内を整理し椅子を増設した。

●早期マッチングに資するため、応募も結果も素早い求人について求人情報提供端末機に選択ボタンを設置した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人検索機利用者からはキーワード検索をしたいといった要望が多くあることから、この要望に応えるためキーワード検索を希望する求職者に対して職業相談窓口においてキーワード検索が可能であることの周知を図り、希望者を誘導、職業紹介につなげていく。

### （4）その他業務運営についての分析等

管内の事業所からはパートの人材確保が非常に厳しいといった声がある。重要施策である正社員実現化との整合性を図りつつ、事業所の要望に応えるべくパート求人の充足対策に取り組んでいく必要がある。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	①生活保護 受給者等の 就職件数	②障害者の 就職件数	③学卒JSの 支援による 正社員就職 件数	④HWの紹 介により正 規雇用に結 びついたフリ ーター等の 件数	⑧正社員 就職件数	⑩新規高卒 者の就職内 定率	⑪求職者担 当制の就職 率(一方向)
実績	5,450	4,733	2,365	91.0%	96.3%	13.0%	571	366	376	1,594	2,785	100%	23.6%
目標	5,943	4,917	2,285	90%	90%	11.5%	396	389	309	1,829	3,324	99.4%	21.6%
目標達成率	92%	96%	104%			113%	144%	94%	122%	87%	84%	101%	109%
(参考)過去3年度平均	6,033	4,944	2,489										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、新規求職者の減少により、窓口相談・紹介件数・就職件数が伸びないことが懸念されたため、受付担当者が腕章をつけ、求人検索中の求職者に声掛けを行い職業相談窓口の利用を図るよう誘導を行った。窓口では求職者の皆様に「窓口相談してよかった」と思われるように窓口にてマッチング等を行い、求人票を提供するなどのハローワークサービスの提供に努めた。

「一人でも多くの求職者に紹介を届ける」ため、職業相談窓口担当者がプラスアルファの相談・紹介することを心がけ、業務を行った。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

「庁舎が古く庁舎外部の掲示板が破損していたり、庁舎内のパンフレットもわかりにくい」とのご意見があり、庁舎外部の掲示板を修理し、庁舎内のパンフレット台も項目ごとにわかりやすくするなどの工夫を行った。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

平成27年度において、求職者の減少に伴い、紹介・就職件数が伸び悩んだことから、今年度は求職者の窓口誘導を一層勧めるため、確実にハローワークに来所される雇用保険受給者を雇用保険給付課窓口から職業相談窓口へと積極的に誘導し、職業相談内容を充実させる。雇用保険説明会や認定日等のあらゆる機会を利用し、これまで以上にハローワークの支援メニューの周知を行う。

また、窓口相談にかかる待ち時間を少しでも短縮するように職業相談窓口担当者が利用者の立場に立った対応をこれまで以上に意識して取組み、プラス1・2のサービス提供を行い充実した職業相談を実施する。

### （4）その他業務運営についての分析等

管内自治体及び商工会議所とは面接会の実施や出張相談等の取組みで連携がとれているので、今後も継続して実施。

昨年度、取組みが低調であったものについては見直しを行い、確実に実施していく。

## 2 総合評価 (※)

## 3 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

自治体との連携において、ハローワーク厚木では「マザーズコーナー出張相談」を実施。この取り組みは要請のあった自治体に対し、子育て支援ナビゲーターが自治体へ出張し、子育て中の女性を中心に職業相談・紹介とともに、子育てに関する助言・情報提供を行うことで、ハローワーク及びマザーズコーナーの周知及び窓口利用を推進している。取組みの効果として、子供が小さくて、十分な求職活動が行えない求職者が利用し、就職に結びつくケースや、自治体の就労支援員と連携し、母子家庭の母等の就労支援相談を行うなど成果は上がっている。今後の課題については実施している自治体で予約制をとっている自治体と、来所された方のみを対象としているなど、自治体でばらつきがあるため、管内の自治体に対して均一な支援を行うためのマンパワー等の体制面での整備が必要と思われる。

## 4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	マザーズH Wにおける 担当者就職 率	正社員求人 数	求職者担当 制(一方向) の就職率	新規学卒者 (高校)の内 定率	障害者チー ム支援によ る就職件数
実績	3,570	4,071	1,758	98.0%	92.5%	15.5	277	258	96.8%	14,432	22.7%	97.7%	62
目標	3,820	4,302	1,824	90.0%	90.0%	12.8	231	253	87.5%	13,360	22.0%	91.6%	51
目標達成率	93%	95%	96%			121%	120%	102%	111%	108%	103%	107%	122%
(参考)過去3年度平均	3,926	4,177	1,671										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク松田 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、求職者の減少傾向の中、特に重点的に進めるためには、担当制の対象である求職者に対して積極的に求人票・セミナーの案内を郵送するとともに、その際担当者による直筆のコメントを添え、求人内容や要望についてのアンケートを同封することで来所勧奨の取組を行った。

また、求職票の未記載欄や記載内容が不十分で、求人とマッチングが上手くいかないという状況であったため、職員研修を兼ねた求職票点検を行い、求職票の記載内容の充実を図った結果、就職件数の目標2,400件に対して、実績が2,426件と目標を達成することができ、大きな効果があったと考えている。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人票の正確性・明確性を図るため、求人受理時に、賃金欄・月平均時間外、休日欄、特記事項に齟齬が生じないように、日々受付した求人を確認し、求職者サービスの向上を図った。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

管内自治体の課題である定住対策事業と連携した面接会を開催したが、当所管内に定住を希望して面接会に参加した方はなく、広報が行き届かなかったという反省から、平成28年度は、都内等への広報に力を入れ、取組みを推進する。

### （4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職件数については目標を達成することができなかったが、具体的取組として、就職支援プログラムへの参加が不調であったことが要因と考えられる。このため、雇用保険受給者説明会や一般相談窓口から就職支援プログラムへ誘導できるよう、リーフレットの見直し等を図り取組みを推進する。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者就職 件数	学卒ジョブサ ポーターの支 援による正 社員就職件 数	ハローワークの 職業紹介に より、正社員 に結び付い たフリーター 等の件数	障害者のチ ーム支援に よる就職件 数	所で選択 して記載	所で選択 して記載	所で選択 して記載
実績	2,428	1,808	838	93.5%	98.0%	17.9%	106	138	672	34			
目標	2,400	1,684	895	90.0%	90.0%	16.0%	104	98	645	21			
目標達成率	101%	107%	94%			112%	102%	141%	104%	162%			
(参考)過去3年度平均	2,502	1,823	841										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、目標達成のため、「良質求人確保」を最重要項目と捉え、特に重点的に進めることとし、①毎月月初めに開催している「求人開拓ミーティング」では、事業所部門、職業相談部門、専門援助部門の職員が出席し、求人者ニーズ、求職者ニーズの情報を交換するとともに、これらの情報を求人開拓や求人要件緩和の助言、職業相談に活用した。また、②新たに「産業団体との連携」による取り組みを開始し、団体を活用した企業情報の収集及び幅広い事業所へのハローワーク情報のPR、面接会等の共同事業の開催を通じて、正社員等良質求人の効率的な確保等の有効な手段となった。さらに、③毎週開催している充足会議では、事業所部門、職業相談部門、専門援助部門の職員が出席し、受理後1週間経過後の求人を対象に求人内容の詳細な情報やフォローアップ対策の検討を行い、マッチングや求職者への情報提供に活用しており、フォローアップ対策においては求人要件緩和の助言に役立てた。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートを見ると、求人者、求職者が共通して「案内表示」「見やすいポスター提示」「わかりやすい陳列」を低評価していることから、庁内の案内表示や掲示物等の見直しを行い、特に、ポスター等については掲示場所を定め、内容・目的に応じたものとなるよう整理した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者担当制は利用者からの満足度も高いことから、今後は職員だけでなく職業相談窓口全員で取り組むこととし、求職者担当制の件数を増加させることとした。

また、求人者が求める支援サービスでは「求職者のより多くの紹介」が期待されているが、満足度が低いことから、「十分な充足対策が行われていない」と判断し、求人充足会議を通じて未紹介求人へのフォローアップ対策（マッチングの推進、求職者情報の提供、要件緩和助言）を強化していくこととした。一方、求職者は「事業所詳細情報」「求人の確保・開拓」に対して期待度が高いものの、満足度が低いことから、「事業所詳細情報」については、より多くの画像情報の取得に努め、求職者の目に付くような画像情報の掲示を進めていくこととした。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成27年度は、紹介件数アップの意識を高めてきたが、十分な効果は得られなかったため、平成28年度はまずは職業相談窓口への誘導を積極的に行い、紹介件数アップに結び付けていくこととした。特に、雇用保険受給者については、認定時間の分散化を検討し相談窓口

の混雑解消を図るとともに、初回認定日以降の相談窓口への来窓勧奨（2回目認定日、給付制限期間中の特別職業相談日（仮称））を行い、また、求人検索機のみ利用する求職者に対して、受付において職業相談窓口への誘導（声掛け）を行うこととする。また、平成27年度から新たに開始した「産業団体との連携」による取り組みは、団体を活用した企業情報の収集及び幅広い事業所へのハローワーク情報の発信、面接会等の共同事業の開催が、正社員等良質求人の効率的な確保等の有効な手段となっていることから、内容を充実し引き続き実施していく。

## 2 総合評価（※）

### 良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 特記事項

平成27年度は、初回認定日の相談時のみにマッチングを行っていたものを2回目認定日においても、相談窓口への来窓勧奨の上、マッチングを行ったところ、雇用保険受給者の就職件数が増加したとともに、低調であった早期再就職件数が改善した。

このことから、今後は2回目認定日に相談窓口へ来窓勧奨、マッチング対策を強化することとしている。

## 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの正 社員就職件 数	正社員求人 数	高卒内定率		
実績	2,172	1,906	1,050	100%	95.5%	14.5%	173	122	177	3,401	100%		
目標	2,260	1,925	1,207	90%	90%	12.3%	115	120	108	3,070	97.5%		
目標達成率	96.1%	99.0%	87.0%			118%	150%	102%	164%	111%	103%		
(参考)過去3年度平均	2,362	2,051	1,020										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

ハローワークを利用して就職活動される方が減少する中でもハローワークによる紹介就職の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、個別担当者制やミニ面接会の開催などの取組を行った。

特に個別担当者制は 818 人の方を対象とし、紹介件数 1,259 件（紹介率 153.9%）就職件数 362 件（就職率 44.3%）の結果となった。

ミニ面接会は年間で 60 回の目標に対し、人手不足が顕著な福祉分野（13 回）を含め目標を超える 68 回の開催となった。福祉分野では、求職者支援訓練の介護系受講者の来所する日に合わせて行うなど工夫をした結果、合計で 204 名の方の参加となった。採用は 13 件と結果は若干低調であった。平成 28 年度も求職希望者の多い職種を中心に開催するとともに、面接会とは別に求人事業所を画像で見えていただく取り組みの充実を目指し、平成 27 年度は 149 事業所分を新たに追加した。この取組については、今年度も継続して行う。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談窓口の待ち時間を緩和するため、雇用保険受給者の最初の認定日の相談を給付課内に専用窓口を設け、1 度で完結するよう変更を図った（従来は 2 ヶ所）。これにより、一般の職業相談窓口での待ち時間が緩和され、職業紹介がスムーズに行える体制が整った。また、当所の Web ページの改善を行い、手続きにより来所する庁舎が異なることの案内強化や写真付きの道案内を加えるほか、事業所の方へ向けた各種案内欄を新たに設けるなど、内容の充実を図るとともに、Web ページへのアクセスを簡易にする QR コードを付けたパンフレットを新たに作成し、広く周知を行った。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

有効求人倍率が高まり、選択肢が広がってきていることから、応募希望求人の確認を的確に行い、窓口での対応をスピーディに行うことを目指す。ただ、就職にあたり、解決すべき課題等、悩みをお持ちの方には個別相談等を活用して手厚く援助を行い、早期に就職できるよう、各種サービスの案内、活用を積極的に行う。

(4) その他業務運営についての分析等

雇用状況の改善が見られるこの時期に、生活保護を受けている方やひとり親で地方自治体から援助を受けている方などの就労支援について、引き続き取り組みを推進するとともに、支援事業開始以降、各区役所との連携も確実に強化され、就職実績も着実に上がっていることから、今年度においても、区役所の福祉センター内の一体的施設における援助を始め、各区役所の担当者との連携をさらに強化して、継続した支援を行う。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 数	正社員求人 数	新規学卒者 (高卒)内定 率	60歳以上の 就職件数	障害者のチ ーム支援に よる就職件 数
実績	5,479	3,731	3,604	95.1%	97.1%	11.1%	458	362	182	13,873	98.2%	1,129	101
目標	5,971	3,918	3,116	90.0%	90.0%	9.4%	473	364	200	13,044	95.6%	886	73
目標達成率	92%	95%	116%			118%	97%	99%	91%	106%	103%	127%	138%
(参考)過去3年度平均	6,026	3,851	3,486										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数を確保するため、紹介件数を増加させることに取り組んだ。紹介件数目標を「就職件数目標の10倍」に設定し、プラスワン紹介※等を積極的に実施した。就職件数の目標は達成できなかったものの、求職者が減少傾向の中で紹介件数は平成26年度を上回ることができた。また、職員・相談員が一丸となり目標に取り組み、意識の向上とマッチングのスキルアップに繋がった。

※求職者の希望条件に合うと思われる求人情報を提供するとともに、その求人情報を基に求職者が選定した求人にプラスして職業紹介を行うこと。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ①職業訓練窓口を一般職業相談窓口隣接させるレイアウト変更を行い、職業相談に対応できる窓口を増やして待ち時間縮減を図った。
- ②満足度調査のサービス期待度において、約5割の求人者がより多くの紹介を求めていることから、条件緩和等により魅力ある求人を目指すとともに、積極的に求人情報等を求職者へ提供した。また、求人票の掲示や配架、当所求人に対する就職件数が多い近隣のハローワークに求人情報を提供した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

平成28年7月、福祉人材コーナーを開設したことから、介護・看護・保育等の人手不足の分野について、関連機関と連携を密にして就職支援に努める。

### （4）その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者を対象に、求人情報をまとめた小冊子を作成し積極的に情報提供を行った結果、「雇用保険受給者早期再就職件数」は目標達成率107%となり、過去3年間の平均を上回ることができた。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者就職 件数	学卒ジョブサポーター の支援による正社 員就職件数	マザーズHW事業におけ る担当者制による重点対 象者の就職率	正社員求人数	障害者チー ム支援によ る就職件数	新規学卒者 (高卒) 内定率	求職者担当 者制の就職 率(一方向)
実績	4,455	4,621	3,170	98.0%	96.4%	10.8%	289	338	87.9%	20,063	72	98.6%	30.4%
目標	4,593	5,150	2,964	90.0%	90.0%	9.7%	289	245	87.5%	21,407	58	98.6%	17.4%
目標達成率	97%	90%	107%			111%	100%	138%	100%	94%	124%	100%	175%
(参考)過去3年度平均	4,684	5,070	3,008										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

# ハローワーク大和 就職支援業務報告（平成27年度）

別添

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

「地方自治体との連携の推進」の取組の目標達成を最重要と考え、毎月の業務月報・求人情報一覧表の提供、合同就職面接会の開催、雇用連絡協議会の開催及び一体的実施事業など連携を強化する取組を実施した。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

職業相談やキャリアコンサルティング能力の高い相談員を窓口業務に専念させ質の高い支援を目指すために、職業相談部門内の役割分担を見直し体制強化を図った。また、受付業務についても、輪番制による体制から担当者制に変更し的確かつ迅速な受付窓口を構築した。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

マッチング機能の強化が重要課題となるので、求職者担当者制や各種支援メニューの提供を積極的に実施し、マッチング機能の向上を図る。

### （4）その他業務運営についての分析等

平成27年度において、正社員求人への転換件数は目標を達成したが、充足数が伸びていない。この理由としては、求人・求職のミスマッチが原因と考えられる。このため、求職者ニーズに即した労働条件緩和の助言を更に強化して良質求人の確保に努めていきたい。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

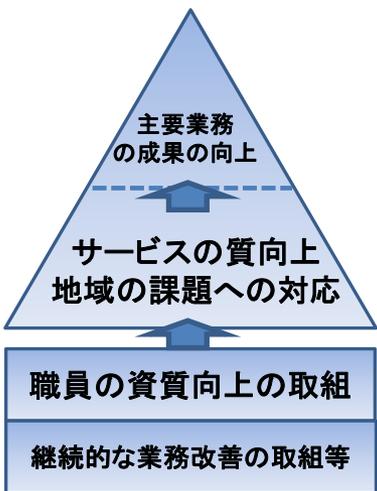
	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護者 等就職件数	障害者就職 件数	学卒JP支援	マザーズH W	障害者チー ム支援		
実績	3,396	2,379	997	94.2%	95.1%	14.3%	320	169	150	88.2%	65		
目標	3,643	2,655	999	90.0%	90.0%	12.2%	231	165	107	87.5%	33		
目標達成率	93%	90%	100%			117%	139%	102%	140%	101%	197%		
(参考)過去3年度平均	3,693	2,545	1,044										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

### PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく  
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り  
就職支援を強化

### ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表  
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。  
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。  
  - 重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

### 評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
  - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
  - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
  - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）  
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

# 総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

## 総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

### 全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

#### (1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職件数
- 求人充足件数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

#### (2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率
- 求人に対する紹介率
- 求職者に対する紹介率

### ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

#### (1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職件数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職件数 など

#### (2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など